



丸の内朝大学 PRESS RELEASE

丸の内朝大学 寅さん学部を特別開講

開講期間：11月14日～12月13日／会場：新丸ビルなど(座学)、葛飾区柴又(フィールドワーク)

受講生募集：2011年10月31日～ 先着順／主催：丸の内朝大学企画委員会／講座実施：松竹株式会社



だいまるゆう

丸の内朝大学企画委員会は、大手町・丸の内・有楽町地区(以下、大丸有地区)の既存施設をキャンパスとした地区内就業者・来街者らに向けた市民大学「丸の内朝大学」の2011年秋季学期の特別クラスとして「寅さん学部 いつも心に寅さんを!クラス」を開講いたします。

秋季学期の特別講座として全6回の授業を行う本クラスでは「今、幸せかい?—寅さんに学ぶ、幸せな生き方」をテーマに、様々な方面で活躍するスペシャリストの寅さんファンをゲストに迎えて様々な見地から寅さんを見つめる講義を作り上げます。

30代向けの女性誌「Domani」(小学館)でも特集されるなど、誕生から40年を超える「寅さん」の生き様が、今改めて若い世代に注目されています。「寅さん学部」では、鈴木敏夫監督をメイン講師に迎え、地域プロデューサー、女性誌編集長、TVディレクターなど様々なスペシャリストをゲストに招き、寅さんの魅力や、それぞれの仕事・人生に活かしていることなどを伺いながら、今、どう生きることが幸せかというテーマを探ります。さらに、特別講義として、今年デビュー50周年を迎える山田洋次監督の特別講演も別途開催します。

丸の内朝大学では開校以来、明るい時間を最大限に活用することでの持続可能性の高い社会づくりへの寄与をめざし、社会の仕組みではなく、個々のライフスタイルの自主的なシフトを促してきました。震災後の環境下ではより一層その役割の重要性が増していると考え、引き続き多様なコンテンツの提供により朝型生活へのモチベーションづくりにつとめていきます。また、いまや一般に言われる「朝活」の場としての機能を越えて、常に動的に変化していくコミュニティ化が目立ってきています。今後もこうしたコミュニティ醸成の場として、受講生の様々な活動をサポートし、コミュニティプラットフォーム機能をもった市民大学として発展をめざしていきます。

講座名：寅さん学部 いつも心に寅さんを!クラス ～「今、幸せかい」寅さんに学ぶ、幸せな生き方～

開催日程：11月14日(月)～12月9日(金)全6回 及び 12月13日(火)山田洋次監督特別講演

場所：新丸の内ビル9F「コンファレンススクエア」ほか 講座実施：松竹株式会社 主催：丸の内朝大学企画委員会

第1回：『男はつらいよ』ってどんな映画? 第2回：寅さん×地域プロデュース なぜ社会に“寅さん”が必要なのか?

第3回：寅さん×ファッション 自然体と粋を両立させる“寅さんスタイル”の秘訣とは 第4回：寅さん×旅 人を通じて、風土を感じる。寅さん流、旅の楽しみ方

第5回：フィールドワーク 日本人の心のふるさと 葛飾・柴又を歩く 第6回：ディスカッション 『男はつらいよ』を現代に活かす

特別講演：山田洋次監督特別講演

丸の内朝大学とは

大丸有地区全体をキャンパスとして出勤前の7時台～8時台の時間を活用して講座を開いている市民大学が「丸の内朝大学」です。2009年4月の開講以来、4～6月に春学期、7～9月の夏学期、10～12月の秋季学期の3期制で、1学期ごとに受講生を募集しています。受講資格を設けずどなたでも参加いただけますが、ほぼ全ての受講生がビジネスパーソンです。連続して学べる授業を、「丸の内」で「朝に」学ぶ意義があるようなプログラムとなるように設計することをコンセプトとしているため、多種多様な講座がうまれています。環境先進都市を目指す丸の内として、朝型のライフスタイルへの変革を省エネルギー化、低炭素化につながる環境にやさしい生活意識の自然な定着と捉えて活動しています。

※「丸の内朝大学」は学校教育法上の「大学」ではなく、一般社団法人などによって運営される環境配慮型行動の定着を目的とした市民大学。